

2007年(平成19年)7月27日

関係各位

本社所在地 大阪市中央区十二軒町5番12号
上場会社名 株式会社マングラム
代表者名 社長執行役員 西村元延
コード番号 4917 東証第1部
問合せ先 広報IR室
大阪本社 室長 越川和則
(TEL 06-6767-5020)
東京オフィス 次長 鈴木良彦
(TEL 03-5204-9136)

中間期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年5月11日の決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の通期業績予想につきましては、後日あらためて開示いたします。

—記—

1.平成20年3月期の中間期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

(1)連結業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	28,000	3,850	3,800	2,000
今回修正予想 (B)	30,000	4,650	4,600	2,350
増減額 (B)-(A)	2,000	800	800	350
増減率 (%)	7.1	20.8	21.1	17.5
前期(平成19年3月期中間期)の実績	27,287	3,452	3,476	1,778

(2)個別業績予想数値の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	20,080	2,560	2,960	1,870
今回修正予想 (B)	20,750	2,840	3,280	2,050
増減額 (B)-(A)	670	280	320	180
増減率 (%)	3.3	10.9	10.8	9.6
前期(平成19年3月期中間期)の実績	19,665	2,036	2,418	1,556

2.連結業績予想修正の理由について

第1四半期の業績および第2四半期の見通しを踏まえた結果、前回発表(平成19年5月11日)の中間期業績予想を上回る見通しとなった為、中間期業績予想を上方修正いたします。修正理由については以下のとおりであります。

第1四半期は、コア・ブランド「ギャツビー」が当社および連結各社において堅調に推移したことに加え、当社において「ルシード」および「ルシードエル」が想定以上の推移となりました。また、海外事業においても、フィリピン、マレーシア、インドネシアを中心に好調に推移したことに加え、当初見込みを上回る円安(対現地通貨)の進行により、円貨換算業績が想定以上となりました。

中間期までは、概ね上記傾向が継続するものと認識しており、売上高を当初業績予想より20億円増額するとともに、増収効果に伴う売上総利益の増加分が営業利益以下の各段階利益に反映するものと予想しております。

なお、下半期におきましては、当初業績予想時に想定していなかった、国内市場競争環境の激化および新ブランドによる新規カテゴリーの参入等による、予想しがたい収益変動が考えられます。したがって、現時点で下半期を見通すことが困難なため、通期業績予想は変更しておりませんが、下半期の収益見通しを見極め次第、速やかに修正の通期業績予想を開示いたします。

(注)上記の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報から得た判断に基づく将来の予想であり、実際の業績は様々な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

以上